

# 原子力委員会について

## 原子力基本法と原子力委員会

我が国の原子力の研究、開発及び利用は、1955年12月19日に制定された原子力基本法をもって、本格的に始まりました。同法は、原子力研究開発利用を平和の目的に限るとともに、民主、自主、公開の原則の下で行うことを定めています。また、同法に基づき、国の施策を計画的に遂行し、原子力行政の民主的運営を図るため、1956年1月1日、原子力委員会が設置されました。

## 原子力委員会の役割

原子力委員会は、原子力基本法に基づき、原子力研究開発利用に関する政策に関することなど原子力に関する重要な項目について企画し、審議し、決定する権限をもっています。

また、原子力委員会は、必要なときに、内閣総理大臣を通じて、関係行政機関の長に勧告することができます。

**原子力委員会委員**（委員（5名）は、両議院の同意を経て内閣総理大臣によって任命される。任期は3年。）



藤家洋一委員長

兵庫県生まれ。東京大学理学部卒、大阪大学助教授、名古屋大学教授、東京工業大学原子炉工学研究所長を歴任。  
1995年4月より原子力委員会委員、1998年1月より原子力委員会委員長代理、2001年1月より原子力委員会委員長。



遠藤哲也委員長代理

徳島県生まれ。東京大学法学部卒、外務省入省、1989年在ウィーン国際機関日本政府代表部全権大使、IAEA理事会議長、1996年ニュージーランド大使を歴任。  
1998年1月より原子力委員会委員、2001年1月より原子力委員会委員長代理。



木元教子委員

北海道生まれ。立教大学法学部卒、1956年東京放送入社、1962年退社後評論家、ジャーナリストとして、教育、女性、エネルギー、政治、高齢社会、農業問題など幅広い分野で活躍中。  
1998年1月より原子力委員会委員。



竹内哲夫委員

東京都生まれ。東京大学工学部卒、1956年東京電力(株)入社、同社取締役副社長、日本原燃(株)代表取締役社長を歴任。  
2001年1月より原子力委員会委員。



森嶋昭夫委員

東京大学法学部卒、名古屋大学教授、同大学大学院国際開発研究科長、上智大学法学部教授を歴任し、1998年(財)地球環境戦略研究機関理事長。  
2001年1月より原子力委員会委員。



# 我が国の原子力行政体制

## 内閣府

原子力委員会

原子力安全委員会

## 基本方針

### 文部科学省

- 原子力の研究開発のための政策
- 高速増殖炉サイクルの研究開発
- 加速器、核融合などの原子力科学技術の研究開発
- 放射線利用の推進

など

- 研究用及び研究開発段階の原子炉施設の安全確保及び防災対策
- 放射線利用に関する安全確保

### 経済産業省

#### 資源エネルギー庁

- エネルギーに関する原子力政策
- 核燃料サイクルのための技術開発
- 核燃料サイクル産業の推進

など

#### 原子力安全・保安院

- 原子力発電所、再処理施設などの原子力施設の安全確保及び防災対策

### その他各省

- 総務省
- 外務省
- 厚生労働省
- 農林水産省
- 国土交通省

など



# 原子力委員会の検討体制

## 原子力委員会

### 総合企画・評価部会

「長期計画」の着実な具体化及び推進のために行われる各分野毎の検討の調整及び原子力政策全般に対する評価

### 市民参加懇談会（市民との原子力懇談会）

原子力政策における市民参加の拡大を通じた、国民との信頼関係確立のための方策の検討及び実施

### 研究開発専門部会

革新炉(高速増殖炉を含む)、加速器等研究開発の推進方策の検討、「原子力試験研究」に関する配分方針の検討等

### エネルギーと原子力を考える研究会

エネルギー問題や地球環境問題の中での原子力の位置づけなどについての討論を実施

### 放射線専門部会

医学、農業・食品衛生、環境保全、工業利用等における放射線利用のための研究開発及び利用促進のための調査・検討

### 原子力に関する情報のあり方を考える研究会

正確でわかりやすい情報のあり方・情報の受発信の方法について検討するとともに、緊急時の情報発信のあり方について検討

### 核融合専門部会

核融合研究開発の総合的な推進のための調査・検討

### 原子力に関する教育のあり方を考える研究会

原子力に関する正確な理解を促進するための教育のあり方を幅広く検討

### 原子力発電・サイクル専門部会

軽水炉発電及び核燃料サイクルの推進のための調査・検討

### 国際関係専門部会

原子力平和利用の担保、対アジア協力、国際機関との関係等に関する調査・検討

### 教育関係専門部会

原子力教育に関する専門的な調査・検討

(注1) 専門部会等の設置は一部予定を含む。

(注2) 各部会・懇談会の下に適宜タスクフォースを設置